

連結貸借対照表

科目	期別	当期	前期
		平成30年3月31日現在	平成29年3月31日現在
流動資産		16,043	14,954
固定資産		10,313	10,071
資産合計		26,357	25,026
流動負債		2,688	2,425
固定負債		1,183	1,033
負債合計		3,872	3,458
純資産合計		22,484	21,567
負債純資産合計		26,357	25,026

連結損益計算書

科目	期別	当期	前期
		(自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)	(自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)
売上高		13,547	12,644
売上総利益		4,198	3,972
販売費及び一般管理費		3,267	2,907
営業利益		930	1,065
経常利益		1,053	1,164
税金等調整前当期純利益		1,310	1,169
親会社株主に帰属する当期純利益		914	800

連結キャッシュ・フロー計算書

科目	期別	当期	前期
		(自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)	(自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		2,086	1,817
投資活動によるキャッシュ・フロー		△2,706	△393
財務活動によるキャッシュ・フロー		△185	△123
現金及び現金同等物の期末残高		3,305	4,066

当期の業績について

当期は、中期経営計画「マスタープラン2016」に基づく事業施策を推進し、13,547百万円と過去最高の売上高を記録しました。損益面では、採算性の良い製品の販売が停滞し、営業利益、経常利益は前期から減少することとなりました。一方、DATA PIXEL社の連結子会社化に伴い、株式の段階取得に係る差益255百万円を特別利益に計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益は914百万円と、前期比14%の増益となりました。

次期の業績見通し

次期(平成31年3月期)は、市場の拡大を背景に、車載用成形品や光通信部品が順調に伸張し、当社グループの売上高は14,500百万円(当期比7%増)となる見通しです。売上高の増加を受けて、営業利益は1,150百万円(同24%増)、経常利益は1,200百万円(同14%増)とそれぞれ成長する見通しです。一方、親会社株主に帰属する当期純利益は830百万円(同9%減)となり、特別利益の計上で押し上げられた当期と比較すると減益となる見通しです。

配当について

当社は、内部留保を考慮しながら、株主の皆様に対して安定した配当を継続的に行うことを基本としています。こうした方針と今後の事業展開を鑑み、当期の期末配当は前期から7円増額し、1株当たり27円とさせていただきます。次期の期末配当は、当期から3円増額し、1株当たり30円とする予定であります。

1株当たり 配当金	平成30年3月期	平成31年3月期(予想)
	27.00円	30.00円

株式の状況

発行済株式総数	9,333,654株
株主数	2,603名

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	毎年3月31日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-782-031 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の 本店および全国各支店で行っております。

株式会社精工技研 管理部

〒270-2214 千葉県松戸市松飛台296番地の1
TEL 047-388-6401(直通) FAX 047-388-4477
E-mail ir@seikoh-giken.co.jp WEB http://www.seikoh-giken.co.jp

株主通信

第46期 事業報告
平成29年4月1日～平成30年3月31日

ごあいさつ

平素は当社に対しまして格別のご支援を賜り、誠にありがとうございます。

第46期は、自動車向けの成形部品の販売が伸張したほか、持分法適用関連会社であったフランスの測定装置メーカー、DATA PIXEL社を連結子会社に加え、創業以来最高の売上高を上げることができました。

新年度の第47期も引き続き、中期経営計画「マスタープラン2016」の遂行に取り組み、継続的な企業価値の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長
上野 昌利



より詳細な情報についてはIRサイトに決算短信などをご覧ください。

http://www.seikoh-giken.co.jp/



連結業績ハイライト

○当期の業績

当期の当社グループは、前期からスタートさせた6ヶ年の中期経営計画『マスタープラン2016』に基づき、「既存事業の収益力強化」、「事業ポートフォリオの最適化」、「経営基盤の強化」の各施策の遂行に取り組みました。

「既存事業の収益力強化」に向けては、自動車や電子機器等に搭載する精密部品や各種の金型、精密加工金属部品等を主力製品とする精機関連事業と、光通信インフラの敷設に不可欠な部品とそれらの製造や検査に用いる機器装置等を主力製品とする光製品関連事業の両セグメントにおいて、販売力と価格競争力の強化に取り組むと共に、新製品・新技術の開発を加速させるための施策を遂行しました。

「事業ポートフォリオの最適化」に向けては、昨年4月、持分法適用関連会社であったフランスの測定装置メーカー、DATA PIXEL社の株式を追加取得して連結子会社化し、当社グループの事業領域の拡大を図りました。

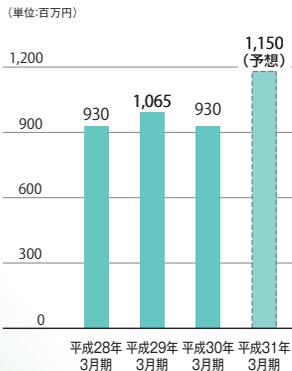
「経営基盤の強化」に向けては、本社と主要子会社との間で共同プロジェクトを展開したほか、合同で管理職研修を行う等、シナジー創出を促すためのグループ内コミュニケーションの円滑化と人材力の強化を図りました。

こうした諸施策を実施した結果、当期の売上高は13,547百万円(前期比7.1%増)となり、当社創業以来の最高売上高を記録しました。損益面では、採算性の良い製品の販売が伸び悩み、営業利益は930百万円(同12.6%減)、経常利益は1,053百万円(同9.5%減)となりました。DATA PIXEL社の連結子会社化に伴う株式の段階取得に係る差益を特別利益に計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益は914百万円(同14.2%増)となりました。

売上高



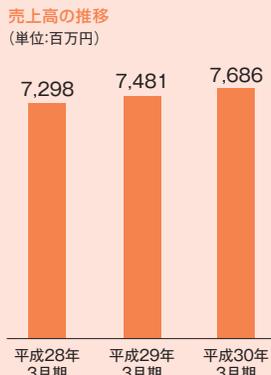
営業利益



精機事業 精密金型/精密成形品/その他

精機事業では、自動車需要の拡大や自動車の電装化を背景に、燃料の噴射圧やブレーキ圧等を感じるセンサー用基幹部品の売上が増加しました。一昨年北海道千歳市に開設した車載用部品の新工場は、静岡県の既存工場からの生産移管が順調に進んでいます。その他、自動車向けには、エンジン内部に搭載する精密金属加工部品や、カーナビゲーションシステムに使用する薄肉光学成形品等が伸びました。

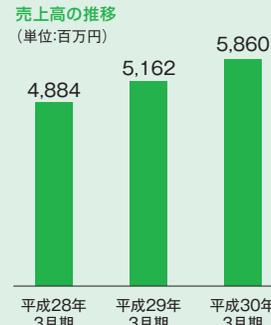
これらの結果、当期の売上高は7,686百万円となりました。



光製品事業 光通信部品/製造機器・装置/その他

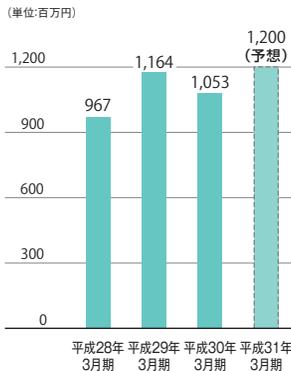
光製品事業では、世界各国で大量の情報データを処理・保管するデータセンターの建設や光通信インフラの敷設が積極的に進められていることを受けて、光通信部品の売上が増加しました。昨年4月には、光通信部品の検査・測定装置の分野で世界的なトップブランドであるDATA PIXEL社を連結子会社に加えたことにより、装置関連の売上も伸張しました。

これらの結果、当期の売上高は5,860百万円となりました。

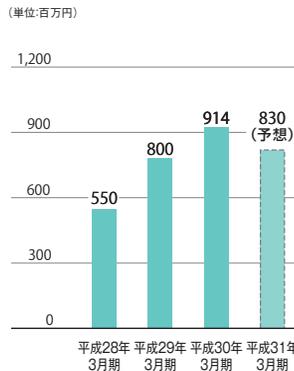


※前連結会計年度より、会社組織の変更に伴い、従来「精機関連事業」に区分していたレンズ事業を「光製品関連事業」へと変更しております。セグメントの業績の中の、売上高の推移グラフは、変更後の区分により作成した数値を使用しております。

経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



TOPICS

今後は占うキーワード『データセンター』



※当社の製品はデータセンター内で使用されています。

爆発的に増大するデジタルデータの保管や処理等を担う『データセンター』は世界で増加しています。総務省の「平成29年版 情報通信白書」によれば、関連事業者の売上高は年率5%から10%程度のペースで増加しており、2020年には世界で27,510百万ドルの規模に達すると見込まれています。当社の光通信部品は、中国のネット通販大手企業の『データセンター』に採用されており、今後も続々と計画されている『データセンター』の増設に応じて取引の増加が期待されます。

『データセンター』の大容量データを保存しておくために、新規格の光ディスク「アーカイバルディスク」が

注目されています。「アーカイバルディスク」1枚あたりの記録容量は300GB(ギガバイト)で、ブルーレイディスクの約3倍。今後、500GBから1TB(テラバイト)までの大容量化が見込まれています。重要なデータを、高い信頼性のもとに、低コストで長期間保存できる「アーカイバルディスク」。当社は、この「アーカイバルディスク」



を量産するための光ディスク金型を早い時期から開発しており、世界の主要な「アーカイバルディスク」メーカーから厚い信頼を獲得しています。

世界のデータセンター売上高の推移及び予測(地域別)

